

■日時 平成28年8月16日(火) ■天候 曇 岡山県立岡山操山高校・通 対 神戸市立楠高校  
 ■球場 大田スタジアム 第3試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 1時間50分 ■備考 7回コールド  
 ■審判 球審:松山 塁審:吉岡 安田 栗村 中断16分(雨)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
楠	兵庫	1	1	0	0	0	0	1			3	4	4
岡山操山・通	東中国・岡山	3	0	1	6	0	0	×			10	8	3

楠		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	投	一	坂口 龍之介	3	0	0	0	三振	投飛			二飛							
2	二		池田 風雅	3	1	1	0	左2		一邪			左飛						
3	三		平入 涼	3	0	0	0	三ゴ		三振				三振					
4	捕		萱野 登希也	3	0	1	1	中3		遊ゴ				三失					
5	一投		飯島 敦哉	3	0	0	0	三振			二ゴ			一飛					
6	右		若林 友輝	3	2	2	1		右本		一邪			右3					
7	中		村岡 龍人	3	0	0	0		三振		捕飛			二直					
8	左		畑 潤也	3	0	0	0		三振			三ゴ		三振					
9	遊		宮内 将太	3	0	0	0		一失			三振		三ゴ					
合計				27	3	4	2	残塁:3		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
坂口 龍之介
飯島 敦哉

捕手
萱野 登希也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	
坂口 龍之介	3	1/3	23	6	3	4	5
飯島 敦哉	2	2/3	11	2	2	1	2

岡山操山・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	4	5	6	8	9	計	安	失
1	三		吉澤 響	3	2	0	0	三失	二飛		四球	三ゴ							
2	二		遠藤 祐毅	3	0	0	0	三振	四球		三振		遊ゴ						
3	投		難波 龍斗	4	2	2	0	左安	左飛		左2		三振						
4	一		東山 康平	4	2	1	1	投失	投飛		左3		一飛						
5	中		延原 翔	3	1	1	0	左安		三ゴ	四球			三振					
6	遊		森 大輔	3	2	1	0	遊ゴ		中安	四球			二飛					
7	右		岡崎 亮二	4	0	1	1	一失		三ゴ	中安			投ゴ					
8	捕		岡本 佑斗	3	1	1	2	三振		右安	遊ゴ								
9	左		足立 誠也	2	0	1	2		四球	遊ゴ	中3								
合計				29	10	8	6	残塁:6		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
難波 龍斗

捕手
岡本 佑斗

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	7	27	4	8	0	2

■戦評

準々決勝に引き続き大田スタジアムで行われた準決勝は、準々決勝を二桁得点で打ち勝った岡山県立岡山操山高校・通信制と9回に鮮やかな逆転劇を見せ勝ち上がった神戸市立楠高校の対戦となった。先攻の楠は初回4番萱野の適時三塁打で1点を先制する。対する岡山操山はその裏2本の安打と相手の守備の乱れから3点を奪い逆転に成功する。楠は2回6番若林のランニング本塁打で1点を返す。引き離したい岡山操山は3回7番岡本の適時安打で1点を追加すると続く4回に4番東山と9番足立の適時三塁打など打者10人の攻撃で一挙6点を奪い試合を決めた。3回以降無安打に抑えられていた楠は7回、若林がこの試合2本目となる長打を放ち相手の守備が乱れる間に一気に生還し1点を返したが反撃もここまで。岡山操山が7回コールド10-3で勝利し決勝に駒を進めた。一方最後は大量失点を喫し敗れた楠であったが、数少ない好機を確実に生かし得点を奪い、主戦飯島の投手力を中心に守り勝つ野球は全国三位にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。